



「エコプロ2017」花王様出展ブースにてトップパンがカーボン・オフセットサービスを提供

「カーボン・オフセットサービス」提供による 温室効果ガス排出削減の支援

温室効果ガスの排出量(クレジット)の取引によって、地球温暖化防止に貢献する「カーボン・オフセット」。トップパンでは適用範囲やクレジットの種類を拡充し、お客さまのニーズに合った提案を行っています。

温室効果ガスの排出量を「埋め合わせる」ことで負荷を削減する

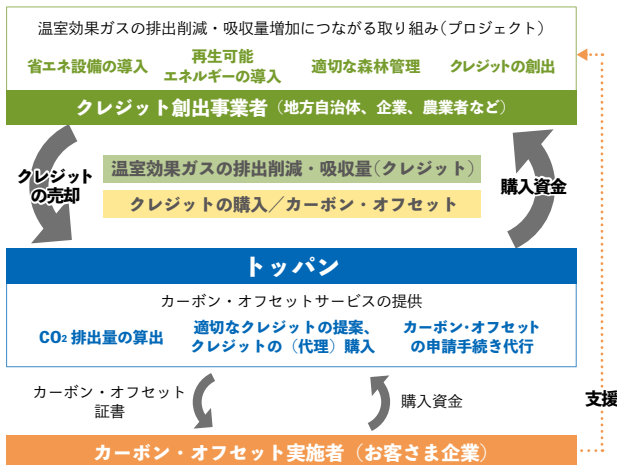
CO₂などの温室効果ガスの増加は世界的に大きな課題であり、2016年に発効したパリ協定は、主要排出国をはじめとする約160カ国・地域が締結しています。地球温暖化対策と経済成長の両立を実現するために、各国・地域で実効性のある取り組みが求められています。

企業は事業活動を通じて温室効果ガスを排出することから、これまでも排出削減の活動や森林保護などに積極的に取り組んできました。こうした活動を支援するひとつの方策として、トップパンは2012年に民間企業で初めてCFPシステム認証[※]を取得。以来、印刷物や出版物向けカーボンフットプリントによるカーボン・オフセット申請支援サービスを行ってきました。

カーボン・オフセットとは、排出した温室効果ガスのうち、削減が困難な部分の排出量の全部もしくは一部を、他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせ(オフセット)する取り組みです。プロジェクト投資や排出枠の購入を通じて、持続可能な開発を促進するという意義を有しています。

[※] CFP システム認証
企業や団体が組織内部に、カーボンフットプリントを算定、検証、登録・公開申請を行うシステムを構築し、このシステムを、第三者であるCFPシステム認証機関が審査し認証する制度です。システム認証を取得した企業や団体は、個別のCFP検証の手続きを経ることなく、カーボンフットプリントの登録・公開申請が可能になります

■トップパンのカーボン・オフセットサービスの仕組み



■カーボン・オフセット5つの取り組み

- ① オフセット製品・サービス
CSRレポートや環境報告書など
- ② 会議・イベントのオフセット
伊勢志摩サミットや「エコプロ」など
- ③ 自己活動オフセット
ビルや施設の電気(ガス・水道など)の使用量など
- ④ クレジット付き製品・サービス
製品・サービス購入者の日常生活の排出量をオフセット
- ⑤ 寄附型カーボン・オフセット
キャンペーンなどで参加者を募ってオフセット

新しい展開が進むカーボン・オフセット



トッパンでは、お客さまがニーズに応じた選択をできるよう、カーボン・オフセットサービスで取り扱うクレジットの種類を充実させています。また、印刷物だけでなく各種イベントでのカーボン・オフセットも可能となり、お客さまの多角的な取り組みを支援します。

■ グローバル対応クレジットの活用

国内外でカーボン・オフセットに活用できる様々なクレジットが取引されています。それぞれのクレジットは、各地の森林管理や省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入などのプロジェクトと紐付けられており、クレジットの購入はそれぞれのプロジェクトの支援につながります。

中でも「ゴールド・スタンダードクレジット」は、気候変動防止と持続可能な開発により高い水準で貢献し、SDGsと関連付けられた、国際的に認知されているクレジットです。トッパンでは「CSRレポート2017」においてこのクレジットを活用したほか、お客さまに対してもサービスの提供を行っています。



■ イベントでもカーボン・オフセットが可能に

展示会、スポーツ大会、講習・講演会、音楽コンサートなど多くの参加者を集めるイベントでは、「参加者の移動」に関するCO₂排出量が大きな割合を占めますが、この算出は難しいものでした。トッパンは、これまで製品・サービスのCO₂排出量算定やカーボン・オフセット申請で培った実績を活かして、イベント参加者へのアンケート調査や登録情報などから人の移動に関するCO₂排出量を類推し、算出する独自の手法を開発。これによりイベント全体のCO₂排出量の算出から、カーボン・オフセットの申請手続きまでを代行し、お客さまのカーボン・オフセットを支援できるようになりました。

2016年度には、モデルケースとしてトッパンの社員向け教育イベントのカーボン・オフセットを実施。その後、「エコプロ2017」のお客さま出展ブースのカーボン・オフセットなどのサービスへと展開しています。

サービス活用事例

花王株式会社様の「エコプロ2017」ブースにおけるカーボン・オフセット

花王株式会社様は、使い終えたものを再び資源に戻す「リサイクル」と、新たに価値を創造する「クリエイション」を合わせた「リサイクリエーション」を提唱しています。「エコプロ2017」の花王ブースでは、環境に対する取り組み紹介の一つとして、来場者の皆さまが「リサイクリエーション」を体感できる特設コーナーが設置されました。



カーボン・オフセットの概要

●使用したクレジット
ゴールド・スタンダード

●創出プロジェクト
インドネシアにおける水力発電設備の改修・効率化事業。このプロジェクトでは、著しい電力需要の増加が見込まれる地域において、プラントの一部を高効率な設備と入れ替えることで発電能力を向上させます。これにより、クリーンエネルギーをより安定的に、より広域へと供給することが可能となり、地域の経済的・社会的環境の改善が期待されます。

ご担当者さまの声

今回の展示では、ブース全体の環境負荷低減を目指す中で、カーボン・オフセットも活用したいと考えました。カーボン・オフセットを大規模に実行するのは難しいですが、展示会のように、期間や規模が限られている場合は、比較的採用のハードルも低くなります。実行にあたっては、負荷量計算を正確に行うことはもちろん、対象となるプロジェクトの選定も重要でした。今回はSDGsに紐付けた社会的課題の解決を意識して選定しましたが、今後は国内イベントだけでなく海外イベントでの活用や、国内・海外を問わないクレジットの選択も検討していきたいと考えています。

花王株式会社
経営サポート部門
サステナビリティ推進部
エコ戦略推進グループ
大鹿 正人様

